

令和 6 年度 要望書

さいたま市商店会連合会



令和6年10月8日

さいたま市長
清水 勇 人 様

さいたま市商店会連合会
会 長 染 谷 幸 一

要 望 書

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当連合会の事業推進につきまして、格別なるご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、さいたま市内の商店会（街）は、インターネット販売などによる購買機会の多様化や価格競争により、厳しい状況が続いている他、経営者の高齢化や後継者不在といった課題にも直面しており、商店会（街）組織の維持・存続自体が危ぶまれております。

依然として続くエネルギー価格や、原油・原材料の高騰、また2024年問題による運搬費の高騰と、客足が戻りきらない中、値上げ等価格転嫁への対応を迫られる状況に陥っています。国、県、市により様々な経済施策が行われており、当連合会といたしましても心より感謝申し上げます。しかしながら、今後の経済回復への見通しは不透明極まりなく、消費者の経済マインドの向上については厳しい見通しが続くものと思われます。

今後とも、当連合会といたしましては、商店会（街）への来街機会の創出および地域経済の活性化に尽力して参りますので、さいたま市から下記の事項につきまして、より一層のご支援、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

敬具

1. 商店街街路灯等電気料補助事業の補助率 10/10（無償化）の継続について

令和5年度商店街街路灯等電気料補助事業について補助率 10/10（無償化）の実施について実現していただき、誠にありがとうございます。無償化による電気料金負担の軽減により、商店街の経営を安定化させ、地域経済の活性化に貢献することが出来ました。

しかしながら、エネルギー価格の高騰は続いており、いまだ先行きが見通せない状況です。依然として街路灯の維持については強い危機感があります。

商店街街路灯は、商店だけではなく、地域住民の安心・安全を守る防犯灯として、生活に不可欠な役割を果たしています。夜間の照明は視認性を向上させ、犯罪抑止効果や事故防止にも期待できます。商店街街路灯は市民からしても重要で不可欠なインフラであること、公共の利益に多大な貢献をしていることを踏まえ、あらためて市における商店街街路灯の位置づけをご検討いただきたく存じます。

つきましては商店街街路灯等電気料補助事業の補助率 10/10（無償化）の継続をいただけますようお願い申し上げます。

2. 商店街活性化キャンペーン事業補助金の継続について

いまだ先行きが見通せないエネルギー価格や、原油・原材料の高騰などによる経済的な影響により商店会（街）の会員事業所は、大変厳しい状況です。

本事業は平成21年度から継続させていただいている実績から、消費者に広く認知され、消費者を市内商店会（街）へ誘引するために必要不可欠であり、大幅に落ち込んだ消費の喚起を促すものとして、商店会（街）の振興に非常に大きな役割を担っております。

つきましては、商店街活性化キャンペーンを継続するにあたり、引き続き事業補助についてご支援賜りますようお願い申し上げます。

3. 商店会（街）の街路灯に係る補助制度の見直しについて

商店会（街）に設置される街路灯については、市民が安心・安全に買い物ができる住みよい街としての防犯灯としての機能を担っております。

商店会（街）においては、小規模企業の集まりであるため経済的に厳しい現状がございます。経済成長期に設置した街路灯については老朽化が著しいものも散見される状況でございます。

更に高齢化等による廃業や商店会（街）自体の存続が危ぶまれる状況にあるなか、管理者不在の既存街路灯については撤去することになっております。また、撤去に係る経費は補助の対象外となっており、商店会（街）にとっては大きな負担となっております。つきましては、既存街路灯の撤去に係る経費についても補助対象として頂けますようお願い申し上げます。

4. エネルギー価格・原油原材料高騰の影響を受けている事業者向けの支援策の拡充について

不安定な海外情勢によるエネルギー価格の高騰や原油・原材料の高騰など経済的な影響はかつてないほどの規模となっております。その様な状況下、さいたま市におかれましては、様々な経済対策を講じていただき誠にありがとうございます。

しかしながら現状に対して、経済情勢の先行きが不透明極まりない状況にあり、いまだ収束へ向けた道筋が見えず、さいたま市内の商店会（街）は、経済的な影響を受けやすい小規模事業者が大半を占める組織で構成されております。

つきましては、上記の影響を受けている事業者向けの更なる支援策拡充をお願い申し上げます。